

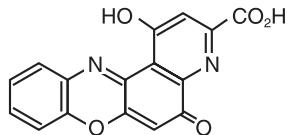


## 2. 有効成分

一般名：ピレノキシン (Pirenoxine) [JAN]

化学名：1-Hydroxy-5-oxo-5H-pyrido[3, 2-a]phenoxazine-3-carboxylic acid

構造式：



分子式： $C_{16}H_8N_2O_5$

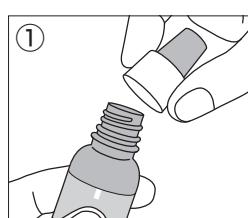
分子量：308.25

性状：ピレノキシンは、黄褐色の粉末で、においはなく、味は僅かに苦い。

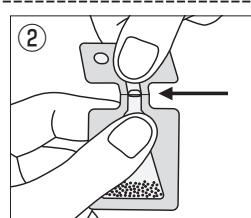
ジメチルスルホキシドに極めて溶けにくく、水、アセトニトリル、エタノール(95)、テトラヒドロフラン又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点：約250°C (分解)

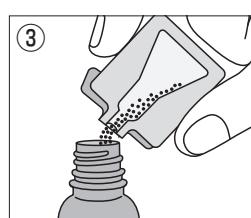
## 顆粒の溶かし方



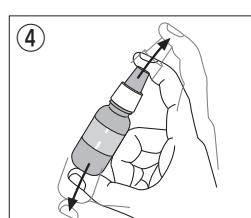
溶解液容器の大キップをとりはずす。  
その際、瓶口部に溶解液の膜が張っている場合は、  
膜が無くなるまで、瓶の  
胴部を軽く押える。



顆粒を大きい方の袋に集め、矢印付近の切り込み線に指をかけないようにして、図のように折る。



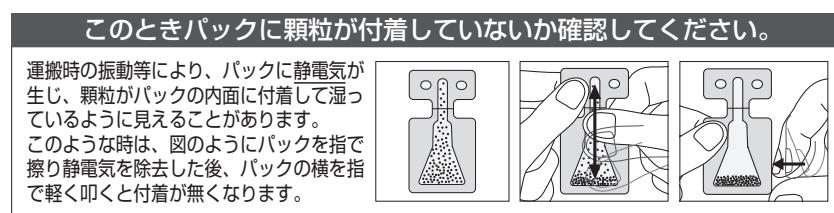
顆粒に手を触れないよう注意し、パックから直接溶解液に入れる。



白色の大キップをかたくしめ、よく振って顆粒を溶解する。



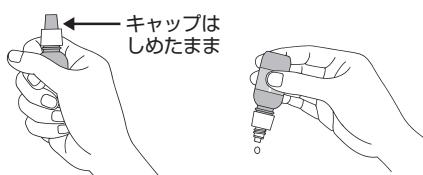
点眼する時は、白色の大キップはそのままにして茶色の小キップのみをはずし、容器の先端が目に触れないように注意して点眼する。



誤って白色の大キップをはずしますと、液がこぼれますので、ご注意ください。

## 点眼される際のお願い

冷所に保存していた点眼液を取り出した後すぐに点眼すると(特に残りの薬液が少ない場合)、容器の中の冷たい空気が手で温められて膨張し、薬液が連続して落ちる場合があります。  
点眼する前にしばらく容器を手で温めてから点眼すると、1滴ずつ点眼できます。



製造販売元 千寿製薬株式会社  
大阪市中央区瓦町三丁目1番9号

販売 物産アニマルヘルス株式会社  
大阪市中央区本町2-5-7

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所  
(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。